



2021年2月3日

各 位

会 社 名 ハウス食品グループ本社株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 浦上 博史
(コード番号：2810、東証第一部)
問 合 せ 先 広報・IR部長 仲川 宜秀
(TEL. 03-5211-6039)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年10月30日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	285,000	18,500	18,300	6,300	62.53
今回修正予想(B)	283,300	19,200	19,000	8,300	82.38
増減額(B-A)	△1,700	+700	+700	+2,000	-
増減率(%)	△0.6	+3.8	+3.8	+31.7	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	293,682	19,005	20,797	11,458	113.73

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間の業績については、本日公表の「2021年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が社会・経済活動に甚大な影響を及ぼし、事業セグメントごとに明暗が分かれる状況が続きました。2020年10月に公表した通期業績予想の進捗に対しては、売上面では概ね計画通りに推移したものの、利益面では各事業で発生するコストが想定以上に抑制された結果となりました。

第4四半期連結会計期間の業績については、海外食品事業におけるタイ機能性飲料事業において、流通在庫の滞留による販売落ち込みを見込むほか、健康食品事業においても緊急事態宣言の再発令による主力ブランドの低迷が予想されます。一方、香辛・調味加工食品事業では、事業活動の制限に伴うコスト抑制は継続することが見込まれます。

こうした業績の進捗や見通しに加え、第4四半期連結会計期間において、投資有価証券の売却による特別利益を計上する見通しであることから、2021年3月期の通期連結業績は、売上高は前回予想を下回るものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回ると見込んでおります。

(参考情報)

2021年3月期通期セグメント別業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

単位:百万円

	香辛・調味 加工食品 事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他食品 関連事業	調整 (消去)
前回発表予想 (A)						
売上高	145,400	21,900	36,700	45,000	44,200	△8,200
営業利益	14,600	△100	5,000	△600	1,700	△2,100
今回修正予想 (B)						
売上高	145,800	20,500	35,100	45,000	45,100	△8,200
営業利益	15,700	△400	4,500	△600	1,700	△1,700
増減額 (B - A)						
売上高	+400	△1,400	△1,600	-	+900	-
営業利益	+1,100	△300	△500	-	-	+400

(注) 本資料における上記の予想を含む記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。今後、業績予想修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上